

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Coccoto ここと (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年3月15日 ～ 2025年4月25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年3月15日 ～ 2025年3月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	音楽療法士の開所したフランチャイズではない唯一無二の音楽に特化した施設である	様々な経験・資格を持った職員が、教育的・音楽療法的方面から活動を考え子供たちにアプローチしている。音楽療法を軸にした活動は自分で発信する事の面白さに気付くことができる。オリジナルプログラムを実施し、利用児が楽しく活動に参加できるよう考慮している。	積極的に音楽研修にも参加し、スキルアップを継続する。1つのプログラムは少しずつレベルアップし利用児の自己肯定感を育てていきたい。外部演奏者を招いたり、音楽イベントへの参加などを今後も積極的に取り入れる
2	職員の士気が高く、チームで療育に当たっている。日々の打ち合わせや振り返りも熱い意見交換が行われている。それをもとに、より良い療育を提供しようと全員が考え実行している	当日のこどもたちの体調・状態などに応じて大集団・小集団等、グループの見直しを行い療育を実践している	新規利用児も含め、個々の特性や相性などを把握し臨機応変に対応できるよう、朝礼・終礼・ミーティングで非常勤職員も含め共有し生かしていきたい
3	ご家庭との関係性	子育て経験者や相談支援資格保持職員が多く、送迎時に連絡帳以外にも当日の様子を細かにお話した上で、親御様からの様々な相談は電話・連絡帳・LINE等でいつでも聞きますとご案内している。	年に一回の懇親会により多くの親御様が参加していただけるよう考慮し、外部講師を招き勉強会なども開催したい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのかかわりが少ない	利用児や地域の子ども達が負担を感じないよう、交流に目的や目標をしっかりと設定し、利用児特性やグループの弱みに十分に配慮した交流の機会を考える	音楽に特化した施設の強みを生かし、楽器演奏などで地域の子どもや高齢者の方々と関われる機会が持てるのではないかと考えるが、教育的音楽要素の多い活動は多くなることが懸念されるため、利用児がストレスにならぬよう注意が必要
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族も参加できる研修会等の機会	特性や年齢の異なる利用児や課題・支援目標も異なるため、集団でのペアレント・トレーニングは効果が薄いと考えている。個別でのトレーニング受講は必要であるか、それだけの時間と場所が事業所で可能か検討しなければならない	必要な情報は都度お伝えしながら、各ご家庭やご利用児の個別の課題や支援については、日々のフィードバック時や電話等で情報共有させていただき、必要に応じて面談の場を設け課題にあわせて情報提供やアドバイスを引き続き行っていく
3	各種マニュアルの策定や非常災害を想定した定期的な避難訓練等の情報発信について	各種マニュアルを策定したり、定期的な避難訓練を実施し口頭や連絡帳で共有しているがしっかりと伝わっていない	各種マニュアルについては、他の情報に埋もれないような方法で親御様に認知を広げる